



日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

2026年度 春季大会

2026年5月23日(土)・24日(日) 近畿大学

5月23日(土)

ポスター発表・オープン学生セッション (3号館 3-401, 403, 501)

会場		3-401
		大槻 知世, 矢田 勉
セッション1	13:00 14:00	P-1 『日本語歴史コーパス 平安時代編Ⅲ 漢文系資料』の公開と活用—法華百座間書抄・高山寺本古往来・尾張国解文の公開— 山本 久(京都大学), 呉 子凡(総合研究大学院大学学生), 田中 牧郎(明治大学), 鴻野 知暁(大阪大学), 小木曾 智信(国立国語研究所)
		P-2 『日本語歴史コーパス 室町時代編Ⅲ抄物』の公開 青木 博史(九州大学), 村山 実和子(日本女子大学), 渡辺 由貴(常葉大学), 北崎 勇帆(大阪大学), 古田 龍啓(九州産業大学), 小木曾 智信(国立国語研究所)
		P-3 近代文語文への長単位形態論情報付与の試み—解析器Monakaの開発と形態論情報規定の検討— 近藤 明日子(国立国語研究所), 尾崎 太亮(東京農工大学学生), 浅田 宗磨, 小木曾 智信(国立国語研究所・総合研究大学院大学)
		P-4 形態素解析サービス「Web茶まめ」における文節・長単位解析機能の実装と公開 尾崎 太亮(東京農工大学学生), 浅田 宗磨, 近藤 明日子(国立国語研究所), 堤 智昭(筑波大学), 小木曾 智信(国立国語研究所・総合研究大学院大学)
		P-5 現代語コーパスを用いた長単位解析器の精度評価 佐藤 龍弥(筑波大学学生)
		P-6 VR空間における指示詞コアの選択—現場との比較を通して— 岡崎 友子(立命館大学), 藪野 光斗(立命館大学学生)
会場		3-403
		岡田 一祐
セッション1	13:00 14:00	P-7 日本語の二字漢語における準派生的構造の再検討 秦 周漢(総合研究大学院大学学生)
		P-8 児童作文における敬語形式—1950年前後に愛知県で作成された児童文集を資料として— 加藤 恵梨(愛知教育大学)
		P-9 現代日本語における新語・俗語の使用実態—データサイエンスに基づいた可視化手法を用いて— 谷口 ジョイ(静岡理工科大学), 柴田 希隆(静岡理工科大学学生), 山岸 祐己(静岡理工科大学)
		P-10 東京都新島における児童生徒の方言意識 西郷 太一(総合研究大学院大学学生)
		P-11 語から同一対象を思い浮かべる人の語の認識と呼称における地域差の検討—「バンダー」の連想・呼称・認識対象調査— 吉岡 花菜(大阪大学学生)
		会場
		小出 祥子, 堤 良一
セッション1	13:00 14:00	G-1 分類語彙表に基づく古典日本語比喩表現の自動検出の試み ZHU HANG(東京農工大学学生)
		G-2 社内対面会議における疑問文の使用と発話効果—RWCP会議音声データベースを用いた分析— 田 雷(立命館大学学生)
		G-3 文字環境における仮名・漢字対立の印象と選択 高野 真未(東京学芸大学学生)
		G-4 八重山語波照間方言の尊敬語oor—丁寧語化の萌芽的使用に着目して— 朴 校演(東京大学学生)
		G-5 『浮世風呂』における副詞の性差 霍 佳イ(関西大学学生)
		G-6 非情物主語二受身と視点 西畑 宏紀(大阪大学学生)
		G-7 古代日本語における素性接辞の痕跡と日琉祖語の分裂自動詞性 白鳥 詩織(京都大学学生)
		G-8 一字漢語サ変動詞における活用のゆれについて—コーパスに基づく計量的考察— 李 昕潔(九州大学学生)
		G-9 「逃げないんだ！」はなぜ禁止の意味を表せないのか? 劉 洋(学習院大学学生)
		G-10 ライトノベルにおける色彩語の修飾対象の分析—人物描写を中心に— 柴原 麻衣(和洋女子大学学生)

フリータイム (15分)

休憩 (5分)

会員総会・大会式典

会場	2号館 実学ホール
司会	会員総会：川瀬 卓 大会式典：高木 千恵
14:20 15:00	会員総会
	大会式典 会長挨拶 会場校挨拶 学会賞授賞式

休憩 (10分)

シンポジウム

会場	2号館 実学ホール	
担当	小川 晋史, 久保蘭 愛	
セッション2	15:10 18:10	シンポジウム 危機言語のデータベース—日琉諸語におけるデータベースのこれまでとこれから—
		パネリスト 狩俣 繁久(琉球大学) CARLINO Salvatore(大東文化大学) 日高 水穂(関西大学) 指定討論者 三宅 俊浩(愛知学院大学) 企画担当 小川 晋史(熊本県立大学) 久保蘭 愛(岡山大学)

7号館 THE CHARGING PIT & DINER

18:30 | 懇親会
司会：有田 節子

5月24日(日)

口頭発表		A会場 (3-401)		B会場 (3-402)		C会場 (3-403)		D会場 (3-501)	
司会(補助)		幸松 英恵 (中崎 崇)		佐伯 暁子 (山本 佐和子)		田村 早苗 (永谷 直子)		堤 良一 (中澤 光平)	
セッション1	9:30 10:10	A-1	日常会話における例示の「たり」の使用文脈に関する考察 三好 優花 (筑波大学)	B-1	変体漢文における助字「被」の尊敬用法の成立—10世紀の古記録を中心に— 呉 子凡 (総合研究大学院大学学生)	C-1	新聞における指示詞の語形選択と記事分野の相関構造—BCCWJ所収『読売新聞』のコレスボンデンス分析から— LYU MENGTING (立命館大学学生)	D-1	新語「味変(あじへん)」の使用増加要因 谷口 悠 (同志社大学学生)
	10:20 11:00	A-2	文末に希望表現を伴うト条件文の成立 竹林 栄実 (東京大学学生)	B-2	「情報を整理して示す」字音形態素「表」の定着—漢訳洋書の影響— 伊藤 真梨子 (学習院大学)	C-2	比喩の形式と出現分布の関係—肯定・否定の形式を中心に— 菊地 礼 (長野工業高等専門学校)	D-2	近現代日本語における副詞ジョジョの展開 金子 春子 (筑波大学学生)
	11:10 11:50	A-3	接続表現「がてら」の意味と構文的成立条件—類義形式「ついでに」「ながら」との対照分析— 大北 まき (大阪YMCA学院)	B-3	「津波」成立史考 吉野 早穂子 (お茶の水女子大学学生)	C-3	評価成分における程度修飾について 常 舒婷 (早稲田大学学生)	D-3	現代・近世日本語におけるイツ形指示詞の指示対象について 高田 篤志 (立命館大学学生)
休憩 (70分)									
司会(補助)		岡田 一祐 (小出 祥子)		山本 佐和子 (佐伯 暁子)		永谷 直子 (田村 早苗)		中澤 光平 (堤 良一)	
セッション2	13:00 13:40	A-4	八行音の摩擦音化とバ行音の分布 高山 知明 (金沢大学)	B-4	中古和文資料に見られる動詞連接の構造 加藤 咲子 (筑波大学学生)	C-4	【形容詞語幹+形容詞】型複合形容詞における連濁—新奇表現を中心に— 趙 萱 (大阪大学学生)	D-4	北陸諸方言における主語・目的語の格標示—動作主性・有生性・主題性の関与する示差的項標示— 松倉 昂平 (金沢大学) 米村 雪乃 (東京外国語大学学生)
	13:50 14:30	A-5	日本梵語音における-k入声をととしたヴィサルガの受容 坂水 貴司 (広島経済大学)	B-5	動詞の自他対応関係の史的展開—「のびる」「のべる」「のばす」を対象として— 平野 杏 (名古屋大学学生)	C-5	現代日本語におけるテミセルの用法別の表記 堀越 颯斗 (筑波大学学生)	D-5	文政期備中の膝栗毛の方言資料的価値と「疑問詞+仮定形」型疑問文の成立 三宅 俊浩 (愛知学院大学)
休憩 (20分)									
ワークショップ		A会場 (3号館 3-401)		B会場 (3号館 3-402)					
会場担当		有田 節子		中崎 崇					
14:50 16:20	ワークショップ1		ワークショップ2						
	少数言語・方言の音声対話型AIの開発—AI時代における低リソースデータの可能性と課題— 坂井 美日 中川 奈津子 宮川 創 高道 慎之介 佐藤 なな子 高橋 哲朗 村留 陵弥		BCCWJ2の構築を通してコーパスの新展開を考える 山崎 誠 呉 寧真 近藤 明日子 落合 哉人 小木曾 智信						

大会実行委員

会場校 大田垣仁 (大会実行委員長), 深澤愛

大会企画運営委員会 高木千恵 (委員長), 有田節子 (副委員長), 矢田勉 (副委員長), 大槻知世 (委員長補佐), 岡田一祐, 小川晋史, 久保蘭愛, 小出祥子, 佐伯暁子, 田村早苗, 堤良一, 中崎崇, 中澤光平, 永谷直子, 森勇太 (委員長補佐), 山本佐和子, 幸松英恵

事務局委員会 川瀬卓 (事務局長), 富岡宏太, 麻子軒

広報委員会 市村太郎, 荻野千砂子